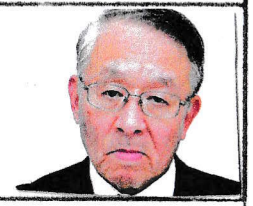
経歴とプロフィール

令和5年10月1日 現在

ふりがな：　どい　よしお	備考	備考・写真
氏名：　土井 承夫		
生年月日：昭和30年（1955年）9月11日	満68歳　　性別：男性	
ふりがな：くらよししふくばちょう		
現住所：〒682-0018 倉吉市福庭町1-142	電話：0858-33-4724　携帯：080-4261-1979　Eメールアドレス：yoshio55doi@yahoo.co.jp	



学歴（年月）	職歴（年月）
昭和46年3月　鳥取県倉吉市立河北中学校卒業	昭和54年4月　日立金属（株）若松工場（北九州市）工務課員
昭和49年3月　鳥取県立倉吉東高等学校卒業	昭和56年7月　日立金属（株）本社（東京・丸の内）ロール営業部員
昭和50年3月　同校専攻科卒業	昭和61年1月　日立金属（株）中部支店（名古屋市）ロール営業主任
昭和50年4月　慶應義塾大学 法学部政治学科入学	平成5年4月　日立金属シンガポール社 営業部長　（Hitachi Metals Singapore Pte.Ltd. Sales Manager）
昭和54年3月　同校同学部同学科卒業	平成11年8月　日立金属（株）本社（東京・芝）ロール営業課長
昭和54年4月　日立金属株式会社 入社	平成12年4月　日立金属（株）本社（東京・芝）ロール営業副部長
平成19年3月　同社退職（「定年退職」扱い）	
平成30年1月　倉吉市福庭自治公民館長に就任。	令和4年11月より学習塾・予備校「伝習館」倉吉本部教室の英語数学の講師に採用され中高生を指導中。
令和3年12月31日付けで同公民館長を退任（規程の任期4年までを全うする）　その4年間をかけて建設した新・福庭自治公民館が同年12月1日竣工。	

＜コミュニテイ活動の要約＞

館長在任期間4年の前に同公民館の総務部長を2年間勤め　その合計6年間に　次の職責も果たした。即ち、上井地区自治公民館協議会館長会会員、倉吉市老人クラブ連合会研修副委員長及び広報委員、上井地区老人クラブ協議会理事、福庭福寿クラブ 副会長、倉吉市男女共同参画委員と同市同和教育研究会委員また「県民による第九」（ベートーヴェン）倉吉公演事務局長と倉吉市河北グラウンドゴルフ同好会 理事も務めた。令和5年2月5日の倉吉市上井地区自治公民館協議会総会で、これらの実績に対して長年功労表彰を戴いた。　令和3年4月より倉吉市民生委員も務めている。

免許・資格	アピールポイントなど
英検準１級（2021年6月に取得）	（１）　音楽全般に興味があり、大学4年間は慶大混声合唱団楽友会に在籍し、ベースのパートリーダーを務めた。倉吉に帰省後も湯梨浜町の「コーラスはわい」（小谷敏彦先生指導）に5年間、倉吉市の「混声合唱団みお」（山田衛生先生指導）で4年間合唱活動に邁進した。令和元年7月より「県民による第九」倉吉公演事務局長に就任したが、コロナ禍の為、公演は実現しなかった。
パソコン関係のスキル：　WORD，EXCEL，POWER POINTのいずれも操作できます。	（２）　鳥取県母子寡婦福祉連合会（井田智子理事長）と交流の深い倉吉市の高齢者福祉団体「かめの泉」（枠島和江代表）の「英語とコーラスの講座」担当講師を令和2年4月より2年間務めた。（月一回、福祉センターで実施）
卒業論文について（昭和53年度＜1978年＞） テーマ「米ソ両体制のゆくえ」ー収斂（しゅうれん）理論の検討ー　慶大法学部政治学科教授 中沢精次郎ゼミ	（３）　スポーツも好きで地域のグラウンドゴルフ大会や練習には積極的に参加している。阪神タイガースのファン。

特記事項

上記のシンガポール6年間の駐在時（家族同伴）には周辺約10か国を英語のみで営業した。　その期間に英語力を養い各国の生活習慣への理解が深まった。またタイ国の鉄鋼メーカーとの合弁会社設立プロジェクトに奔走した経験が後の福庭自治公民館建設に役立った。　市内最大（415世帯、1,040名）の同公民館建設を助成金などを最大限に活用して住民負担ゼロの条件で完成させた。令和3年12月1日竣工。　また令和4年より 倉吉市遺族会会長に就任した。

以上